

(6月13日) : ベトナム株式市場は続落

6月13日のホーチミン株式市場は大型株の冴えない動きに加え、投資家の警戒感から流動性に大きな打撃を与えた。

前場の下落のために、後場もVN指数は937-940ポイントに向かって下落した。いくつかの小型株と大型株に引け間際に買いが集まったことが市場の頼みの綱となった。

VN指数は4.09ポイント(0.43%)安の950.08ポイントで取引を終えた。113銘柄が上昇したのに対し、163銘柄が下落した。出来高は1億4280万株で、売買代金は3.3兆ドンでそれぞれ前日比3.4%増加と16%の減少だった。

相対取引では4400万株が取引され、売買代金にして1兆ドンほどであった。

VN30指数では、ベトコムバンク(VCB)、VPバンク(VPB)、エクシムバンク(EIB)の3つの銀行のみが上昇した。7銘柄は変わらずで、20銘柄が下落した。ビングループ(VIC)は0.43%下落し115,500ドン、ビナミルク(VNM)は1.6%下落123,200ドンで取引を終えた。

ホーチミン市場では、大型株の急落がみられた。ベトナム航空(HVN)は2.88%下落し42,150ドン、DHG製薬は2.5%下落し109,200ドンで取引を終えた。

FLCファロス建設(ROS)は出来高トップで1070万株が取引された。

多くの大型株は下落して終えたが、小型株には上昇した銘柄があった。ドゥックロンザライグループ(DLG)、ANDグループ鉱山投資(AMD)、ハロン投資コンサルティング(HID)、ドリームハウス投資(DRH)、バンファットフン不動産(VPH)などはストップ高に達した。その他の小型株でも、カントー農業技術資材(TSC)、ベトナム海運(VOS)、チュオンザン建設投資(TGG)、FITグループ(FIT)、FLCグループ(FLC)などは上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.06%下落し、103.5ポイントで取引を終えた。出来高は18.7%下落し、2220万株で、売買代金は9%下落し2680億ドンであった。

アジアコマーシャル銀行（ACB）、ペトロベトナムサービス（PVS）はそれぞれ0.35%、0.45%上昇し HNX 指数の下落を和らげた。PVS は出来高が 247 万株でハノイ取引所のトップで、次いで SHB が 262 万株であった。

SHB と PVS の流動性に加えて、クオックザン銀行（NVB）も 100 万株以上の出来高で流動性を支えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。